



あじけん通信 vol.7

2008年 8月発行
発行所：TBC国際外語学院
企画・編集：水沼 正芳

梅雨も明け、ギラギラした夏の日差しが本当に眩しい季節がやって来ました。

うだるような暑さが続き、少し動けば汗が噴き出すような時期ですが、ここアジア研修センターでは、そんな暑さにも負けず、毎日元気に授業が行われています。

先月は、『ラップ使用推進月間』ということで、研修生の皆さんにとっては馴染みの薄いラップの正しい使い方や使用目的についての指導を行って参りましたが、まだまだ完全な定着にまでは至っていないのが現状です。集団生活を送っていく中で、特に気をつけたい食中毒。そしてそれが非常に起こりやすいこの時期だからこそ、研修生の皆さんのお腹の安全の為、参加意識120%で引き続き取り組んでいきたいと思っています！

この夏掲げたスローガン 〈包もう・くるもう・巻いていこう！！〉まだまだ続けていきます。

生活支援トピックス vol. 緊急突撃企画「ねえ、ちゃんとラップ使ってる!？」の巻!

先月から開始しましたラップ使用啓蒙活動！一定の効果は認められたものの、この夏を安全に過ごしていく為には、まだ十分に習慣付いたとは言えない状況です。

日本で生活する上での注意事項を説明する上で、私はいつも「知らない事は知らない事で構いませんが、1度教わった事については、是非実践して行って下さいね。」と研修生の皆さんに話をさせていただきます。ほとんどの研修生の皆さんはそこで、「はい、わかりました!」と気持ちの良い返事を聞かせてくれるのですが、後から部屋の様子を見てみると、実に混沌とした様子を目の当たりにすることになります。今回は、皆さんの部屋の冷蔵庫を見せてもらってききましたので、その模様をご覧ください！



果物も包めば新鮮さ長持ち！ きちんと活用しています！



こういったお野菜等は…



この様にお願いします！



拡大画像



パッと見た感じ綺麗ですが… お椀にも掛けましょう！



コラコラ、ちゃんと使おう！



飲み物にもですよ！



今月の仰天大賞（コレ、鶏肉です!） きちんとラップの掛けられた



拡大画像



厚揚げ・ピーマン・玉葱の炒め物と、卵とトマトの炒め物

日本での一般的な常識が、必ずしも世界の一般常識でないという事は至極当然の事ですが、今後日本である一定期間生活をしていく中で、日本語の学習はもちろん、日本人がしている事を見て真似する事で、日本での基本的な生活習慣に慣れていってほしいという思いが強くなります。

ラップ1つにとってみても、研修生の皆さんには一種の驚きなのかもしれませんが、こうした些細な1つ1つを、是非ここに居る間に覚えてほしい。そう思いながら日々、皆さんと接しているのです。